

女川町の人
りがあり、
響を与えてい
問題は大人の
れると。
らと流れて
る個人の周り
見るのではつ
米、「福島
ついう生き方
と問われると
、「東京の知
お母さんにも
び掛けたが、
っているの」
念が多かつ
問の) 掘り起
たいと思っ
す。
の初会合には
らの避難者も
人が参加。が
給食」などテ
のワーキング
つくった。
は4月の環境
で「年間5万
れ可能」と回
り、がれき手
ぐに動いた。
震災前の放射
処分と同じ扱
ち市長は求
活動を行い、
3170人の
出。その後も
訪問するなど
方法を尋ねた
人がいかに
訴えたりし
市は10月の環
では「詳細な
ていない」と
に転じた。
で広域処理の
ね、11月の全
でも理解を求
け入れに前向
県島田市の住
にも出席し
声を上げてほ

東日本大震災救援金
(京都新聞社会福祉事業団扱い 敬称略)
【20万円】舞鶴市 成光苑京都職員親睦会 同【6万5000円】伏見区、北醍醐こじま施設院【2万9948円】亀岡市、亀岡中央公民館英英会話サークル【2万2192円】東山区、砥園歌謡舞会【1万3928円】中京区、長尾景都【7000円】五反区、田中詢也他

△郵便振替番号
【10万9133円】伏見区、櫻石カマエ桂吉【3万5934円】十全会カール7関祭者 同【2万2027円】舞鶴市 福谷誠一【1万9670円】下京区、ホテルリネアス京都【1万4773円】北区、内田園科医療受付募金箱【1万8

東日本大震災 救援金受け付け
東日本大震災による被災者救援のため、京都新聞社と京都新聞社会福祉事業団は救援金を受け付けています。ご持参し京都新聞ビル4階の同事業団(土日は休み)か、現金書留【〒604-8577(住所不要)か、郵便振替【01010109888】で、公益財団法人京都新聞社会福祉事業団へ。封筒や通信欄に「東日本大震災救援金」と明記してください。問い合わせは福祉事業団【075(241)6186】へ。
京都新聞社 京都新聞社会福祉事業団

60円】高島市、横木歯科医院患者様分【1万円】山科区、嶋田【7033円】伏見区、楽美kyoto【3000円】山科区、匿名伏見区、玉来英樹
京滋の支援
募金
◆東日本大震災◆
日本赤十字社「ゆち

よ銀行・郵便局。口座番号00140181507。加入者名「日本赤十字社 東日本大震災義援金」△京都府「京都銀行」府庁出張所。普通預金、口座番号3171785。名義「府東北地方太平洋沖地震被災者義援金」△京都市「三菱東京UFJ銀行市役所出張

所。普通預金、口座番号3179135。名義市東北地方太平洋沖地震災害に対する義援金。◆台風12号豪雨◆日本赤十字社和歌山県支部「ゆちちよ銀行・郵便局。口座番号009601511129。加入者名「日本赤十字社和歌山県支部台風12号義援金」

亡くなった方
東日本大震災で亡くなった方々のうち、10日に新たに氏名が判明した方は次の通り。(宮城県警の発表による。居住地別、敬称略)
【宮城県】
▽気仙沼市 鈴木一喜
▽女川町 鈴木政義

大震災被害者数
死者 1万5844人
行方不明者 3450人
(10日現在、警察庁まとめ)
避難・転居者 33万4786人
(12月15日現在、復興対策本部まとめ)



「ストレステストでは安全にならぬ」
EJ評価担当のカスチエフ博士

「ストレステストでは安全にならぬ」EJ評価担当のカスチエフ博士が専門の物理学者。ブルガリア原子力安全庁長官などを歴任、EJ評議会の委託を受け、各国で実施された原発ストレステストの「残余リスク」を評価した。京都、滋賀の両府県が30き圏内に入る大飯原発3、4号機などのストレステストを考えた。環境団体グリーン・アクション(京都府)などが招き、9日に講演した。カスチエフ博士はEJのストレステストについて「人的ミスや複合要因、老朽化などは

対外で(想定を超えざる事態に耐える)頑強性の基準もない(日本と同様に)原発は安全と云ってきた事業者や行政がテストを実施、評価しており、技術も責任能力もない」と指摘した。日本のストレステストについても「なぜ原発事故の原因究明を先に行させないのか。3月11日の前に福島原発のストレステストを実施していたら、問題ないとしていたであろう。ストレステストで原発は安全になるわけではない」と批判

京都男声合唱団が被災者に無料招待
28日、左京で演奏会
京都男声合唱団(事務局・京都市右京区)は28日午後7時から、第32回演奏会を左京区の京都コンサートホールで開く。定員約1700人のうち計200人について東日本大震

した。集会には、経済産業省ストレステスト意見聴取会の委員を務める井野博満東京大名誉教授も参加した。大飯原発の活断層評価を十分とした上で、「事故は人的ミスと目に見えない欠陥で起こり、ストレステストで予測できない。多くの老朽原発を抱える若狭湾で運転再開の突破口を開かせてはいけない」と強調、「最後に頼りになるのは国ではなく、地域だ」として自治体への働き掛けを訴えた。(稲庭 隆)

災の被災者と関西在住の被災者親族を無料招待する。岩手県出身の作家宮澤賢治の詩に旋律をつけた合唱曲「永訣の朝」や、映画「大脱走」の挿入歌などを歌う。同合唱団は昨年6月に米国エール大の合唱団が上京区で歌った東日本大震災チャリティー

公演を主催している。一般千円。申し込みは京都男声合唱団事務局長の岸本さん【080(6679)5001】へ。被災者や親族については岩手、宮城、福島各県の大阪事務所でも受け付ける。

五十旗頭議長が復興への展望語る
同大が15日講演会
同志社大法学部と政経学部は15日午後7時から講演会「東日本大震災とその復興」を京都市上京区の今出川キャンパス寒梅館で開く。

政府の東日本大震災復興構想会議議長を務める五十旗頭真・防衛大学校長が、復興への提言「悲愴のなかの希望」をまとめるまでを振り返り、被災地復興への展望を語る。当日受け付けで無料。法学部事務室【075(251)3510】。